

県議会 I C T 化推進に関する 報告書（令和 5 年度）

福井県議会ICT化推進ワーキンググループ

1 議員サポート体制の充実

▶ 令和5年度の実施内容

○サポート体制の整備

- ・ 定例会ごとにサポートデスクを設置
- ・ 発生した課題と対応状況について、ICT化推進ワーキンググループに報告

○研修等の実施

- ・ 新人議員向け研修の開催（2回）（R5.5.1、R5.5.26）
- ・ ミニ講座の開講（4回）
 - ①タブレットおよびMS365操作講座（R5.9.29）
 - ②よろず相談会（R5.10.17）
 - ③議員活動における生成AIの活用に関する研修（R6.1.24）
 - ④SNS活用講座（R6.3.6）

1 議員サポート体制の充実

▶ 現状と課題

- ・ 議会全体のスキルは向上。一方、議員間の習熟度に差。
- ・ 本会議等の特定日よりも、随時・個別の丁寧なサポートにニーズがある。
- ・ 新たなICT活用に向けて、専門的な知見に基づく技術的助言や提案が必要

▶ 令和6年度以降の対応

- **議会局職員によるサポートに移行**
- タブレット端末やアプリの有効活用などの技術的提言やICTの積極的活用に向けた各種提案を受ける「**ICT専門アドバイザー**」（仮称）の設置
- タブレット端末やアプリ、先進的なICT技術に関する**ミニ講座の開講**

2 災害対策における活用

▶ 令和5年度の実施内容

○安否確認報告への活用

- ・ R5.6.16 OutlookとTeamsを利用した安否確認訓練を実施
⇒Outlookメールによる回答14名、Teamsによる回答13名 ※重複あり
- ・ R6.1.1 令和6年能登半島地震発生時、OutlookとTeamsにより安否確認
⇒Outlookメールによる回答17名、Teamsによる回答10名

○災害等に関する情報の提供等

- ・ R5.5.5 能登地震（震度6強・県内最大震度4）時の注意喚起
- ・ 県災害対策連絡室の設置・廃止および災害情報等の提供
大雨（5回）、台風（1回）、大雪（1回）
- ・ R6.1.1 令和6年能登半島地震（震度7・県内最大震度5強）
県災害対策本部、県支援本部の情報提供

2 災害対策における活用

▶ 令和5年度の実施内容

○災害発生時の要望等のとりまとめや情報共有等の方法の検討

- ・ 県災害対策本部が設置される規模の大規模災害で、災害の範囲や被害状況から必要と判断される場合に実施
- ・ Teams機能を用いて、災害対応に係る要望・提案や被害状況等の情報共有を行う方法について検討

○県議会危機管理対応マニュアルの改正（予定）（各派代表者会議において審議）

- ・ 議員の安否確認について、OutlookメールやTeams活用を念頭に置いた方式へ変更
- ・ 議員からの情報や要望事項の提供および災害現場の情報共有について、Teamsを用いて行うよう見直し

2 災害対策における活用

▶ 現状と課題

- ・ R5.6に実施した安否確認訓練では、10名の議員が議会局からのメール、チャットに気づかず
- ・ マニュアル上、大規模災害発生時に安否報告を頂くこととなっているが、R6.1.1の能登半島地震の時は、3割近くの議員に対して電話連絡による安否確認を実施

▶ 令和6年度以降の対応

- ・ 安否確認や大規模災害発生時の要望事項取りまとめ、情報共有の運用を開始
- ・ 訓練等を実施し、安否報告等を周知徹底
- ・ 実際の運用を通して、課題の把握や解決策を検討

3 資料閲覧の容易性の向上

▶ 令和5年度の実施内容

○タブレット端末での閲覧を前提とした資料づくり

- ・横長レイアウト、カラーの使用、フォントなど視認性を意識した資料づくりを実施
- ・議案事前説明資料については、原則として従前のA3横長レイアウトを継続

▶ 現状と課題

- ・moreNOTEへの資料格納が増加し、容量不足が懸念

▶ 令和6年度以降の対応

○moreNOTEの容量グレードアップ

- ・資料データの格納量のグレードアップ（10GB→20GB〔予定〕）

4 研修等へのオンライン参加の実施

▶ 令和5年度の実施内容

○オンラインによる協議等の場等の開催

R5.9.22 県議会 I C T 化推進ワーキンググループ(5名中オンラインで2名出席)

R5.12.8 県議会 I C T 化推進ワーキンググループ(6名中オンラインで3名出席)

R6.1.24 議会改革検討会議(14人中オンラインで7名出席)

R6.2.15 県議会 I C T 化推進ワーキンググループ(6名中オンラインで3名出席)

○オンラインによる研修会の開催

R6.1.24 福井県議会ハラスメントの防止に関する研修(23名中オンラインで11名参加)

// 議員活動における生成 A I の活用に関する説明会(23名中オンラインで12名参加)

4 研修等へのオンライン参加の実施

▶ 現状と課題

- ・大雪時などで登庁が困難な場合のオンライン開催の有用性を確認
- ・質疑のタイミングの取り方等進行上の工夫や、会議画面と資料の同時表示方法の周知が必要
- ・オンライン会議の急きょ開催に備え、タブレット端末の手元保管が必要

▶ 令和6年度以降の対応

- ・オンライン会議の進行に当たり、要所要所で発言の有無を確認するなど、オンラインならではの進行に配慮
- ・令和6年度以降も積極的にオンラインを活用

(参考) 令和5年度の検討経緯

福井県議会では、令和4年9月に全議員にタブレット端末を配付し、資料等のペーパーレス化の試験運用を開始した。

令和5年5月からは、ペーパーレス化の運用を本格的に開始し、紙による資料等の配付を廃止した。

令和5年6月の議会改革検討会議において、本格実施に伴う新たな課題や対応および更なるICTの利活用策を検討するため、「県議会ICT化推進ワーキンググループ」を設置し、検討を行った。

- 第1回 令和5年9月22日（金）
- 第2回 令和5年12月8日（金）
- 第3回 令和6年2月15日（木）

県議会ICT化推進ワーキンググループ委員

座 長	兼井 大	議員
	松崎 雄城	議員
	福野 大輔	議員
	野田 哲生	議員
	藤本 一希	議員
	山岸 みつる	議員